

エラー： Splunkプロセスの再起動時に「Invalid key in stanza」が発生しました。

適用性

Splunkクラウド Splunk Enterprise

説明

コンフィギュレーションファイル内で新しいプロパティを設定してSplunkインスタンスを再起動すると、ヘルスチェックの使用時に次のメッセージが表示されます

```
Invalid key in stanza [search] in /opt/splunk/etc/system/local/limits.conf, line 11
```

調査

btoolを使用して、コンフィギュレーションファイル内の整合性をチェックできます

```
./splunk btool check -debug
```

すべてのコンフィギュレーションファイルのリストは、このページの左側の <https://docs.splunk.com/Documentation/Splunk/8.0.0/Admin/Savedsearchesconf>にあります。

.confファイルと.specファイルの間に不整合がある場合、「Invalid key in stanza」エラーが発生します。これは通常、次のタイプのシナリオで発生します。

- キーまたはスタンザに誤字があります
- キーが正しいスタンザに設定されていません
- これは隠しプロパティであり、問題をデバッグするためにSplunkのプロフェッショナルサービスのサポートによって提供されます。これらのプロパティはパブリックではないため、.specファイルには含まれません

このKBの例では、enable_conditional_expansionはlimits.conf内の隠しプロパティです。これらの種類のプロパティは、Splunkのサポートから要求された場合、トラブルシューティングの目的でのみ使用する必要があります。

解決方法

プロパティがpublicの場合は、入力ミスを探すか、.confファイル内の正しい位置にあることを確認します。必要に応じて.specファイルを確認します (limits.confファイルの場合は、正しい構造のlimits.conf.specがあります)

隠しプロパティの場合、このエラーは無視しても問題ありません。stanzaエラーが表示された場合でも、.confファイル内の正しい位置であれば、このプロパティは機能します。必要に応じてサポートに問い合わせてください。

関連リンク

Splunkドキュメント

[設定ファイルのリスト](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。